

第7章 子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上及び増進

(1) 子育て環境の確保

<現況と問題点>

本市は日本一住みたいまち、子育てしやすいまちの実現を目指す「郡上っ子宣言」を発表しています。誰もが安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て世帯への経済的支援、女性が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるような環境の整備、ひとり親家庭や配慮が必要な子育て家庭への支援など、子どもとその家庭の状況に応じた支援の充実を図ってきました。子どもを健やかに育てていくために、家庭、保育園、幼稚園、認定こども園、企業、行政が一体となり、地域全体で子どもや子育てを見守り、寄り添い、支え合う取り組みが求められています。

核家族化の進行や子育て世代における地域のつながりの希薄化により、子育てに対する様々な負担や不安が顕在しており、子育て支援の量的拡充と質的改善が必要となっています。また、幼保施設の利用料や各種子育て支援事業の利用料、就学後にかかる学校教育費用など、子育てにかかる経済的負担は非常に大きくなっており、負担軽減の対策が必要です。

保育施設は、近年の出生率の低下などにより幼児数は減少しているものの、核家族の増加や共働き世帯の増加により保育に対する要望は強く、特に未満児の入園希望が増えていることから、現状のニーズに合わせた対策が求められます。また、対象幼児数の推移を考慮し、保育需要の変化に即した安全で安心な保育環境の整備と保育内容の充実を図ることが求められています。なお、小川保育園は、「めいほうトンネル」の開通に伴い、令和4年4月1日に明宝保育園に統合しました。今後も地域の実情を踏まえた保育環境の整備を行う必要があります。

【市内の保育施設の状況（令和3年度現在）】

地域	園 名	園児数 (うち未満児)	区 分
八幡	八幡幼稚園 慈教保育園 妙高幼稚園 妙高保育園 ひかりの丘こども園	32名 99名(20名) 40名 101名(34名) 52名(10名)	公立幼稚園 私立保育園 私立認定こども園 私立認定こども園 私立認定こども園
大和	幼児教育センターやまびこ園(幼稚園部) 幼児教育センターやまびこ園(保育園部)	36名 119名(38名)	公立幼稚園 公立保育園
白鳥	北濃保育園 石徹白保育園 白鳥こども園 浄心こどもの城 大中保育園 まどか保育園	24名(5名) 14名(3名) 58名(9名) 98名(30名) 80名(13名) 50名(9名)	公立保育園 公立保育園 私立認定こども園 私立認定こども園 私立保育園 私立保育園
高鷲	たかす保育園 たかす北保育園	64名(17名) 38名(8名)	公立保育園 公立保育園
美並	幼児教育センターみなみ園(幼稚園部) 幼児教育センターみなみ園(保育園部)	31名 65名(14名)	公立幼稚園 公立保育園
明宝	明宝保育園 小川保育園 ※令和3年度末で閉園	30名(4名) 2名	公立保育園 公立保育園
和良	和良保育園	12名(1名)	公立保育園

放課後児童クラブは、児童数の減少に伴い、利用者数は減少傾向にありますが、共働き世帯の増加や就労状況の多様化に伴い、需要が高まっていることから、より質の高いサービスの提供が求められています。

【市内の放課後児童クラブの状況（令和2年度現在）】

地 域	クラブ名	場 所	利用者数
八幡	八幡放課後児童クラブ	八幡小学校	2,075 名
	相生放課後児童クラブ	相生小学校	1,354 名
	川合放課後児童クラブ	川合小学校	1,298 名
	口明方放課後児童クラブ	口明方小学校	4,667 名
大和	大和北放課後児童クラブ	大和北小学校	2,537 名
	大和南放課後児童クラブ	徳永公民館	769 名
白鳥	しろとり放課後児童クラブ	白鳥小学校	5,871 名
高鷲	高鷲放課後児童クラブ	高鷲福祉交流センター	2,536 名
	高鷲北放課後児童クラブ	ひるがの自治会館	872 名
美並	美並放課後児童クラブ	三城小学校	3,032 名
明宝	明宝放課後児童クラブ	明宝スポーツセンター	3,107 名
和良	和良放課後児童クラブ	和良小学校	655 名

このほかに、本市には4つの児童館があり、工作や絵本の読み聞かせなど、遊びの指導を通じながら親同士の交流を図っています。また、大和地域では「大和子どもセンターバンビ」が民間団体により運営されています。児童館がない地域では、定期的にほっとサロンを開催し、親子の交流や子育て相談などを実施しています。

子どもの減少に伴い、利用者も減少傾向ですが、地域とのつながりの希薄化など社会情勢の変化などにより、子育てに不安を抱える世帯の増加が懸念されるため、子育て交流や学習の機会を充実する必要があります。

【市内の児童館の状況（令和2年度現在）】

地域	施設名	運営主体	利用者数
八幡	はちまん児童館	郡上市	5,367 名
大和	大和生きがいセンター (大和子どもセンターバンビ)	民間	2,975 名
白鳥	(ほっとサロン) ※白鳥高齢者福祉センターで実施	郡上市	2,176 名
高鷲	たかす児童館	郡上市	227 名
	たかす北児童館	郡上市	236 名
美並	(ほっとサロン) ※さつき苑で実施	郡上市	812 名
明宝	(ほっとサロン) ※明宝保健センターで実施	郡上市	91 名
和良	わら児童館	郡上市	954 名

<その対策>

郡上市総合計画及び令和2年度に策定した郡上市子ども・子育て支援事業計画に基づき、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境整備を図ります。行政・市民・関係機関が一体となって、子どもを健やかに育ていくために、子育て世代包括支援センター事業等子育て支援環境の充実を目的とした事業を実施し、相談・支援体制を強化します。また、子育て交流や学習の機会を提供し、地域のつながりづくりを支援します。

近年の女性就労率の上昇や育児休業制度の普及などにより、共働き世帯が増加し、保育のニーズはますます高まっていくことが考えられます。延長保育や一時預かり、低年齢児保育など、保育体制を充実するとともに、乳幼児が健やかに育つために、保育園と幼稚園の両方の機能を有し、子どもたちに一体的に教育・保育を提供する認定こども園化を推進するなど、より質の高い教育・保育を提供していきます。また、経年劣化した児童福祉施設の維持修繕に努め、快適で安全な保育環境の確保に努めます。

放課後児童クラブについては、支援員研修会の開催や実施主体へ活動助成を行い、より質の

高いサービスの提供を行います。また、令和 6 年に大和地域の小学校の統合が予定されていることから、統合に合わせて新たな放課後児童クラブ施設の整備を行います。さらに、今後の学校再編を見据え、放課後児童クラブの体制についても順次見直しを行っていきます。また、市内にある児童館やほっとサロンでは、親子交流、子育て相談及び子ども達の遊びの充実を図るとともに、民間の子育て支援団体の活動への支援を行います。

子育て世代の経済的負担の緩和については、第 3 子以降を対象とし、小学校就学までの 6 年間毎年商品券を支給する「がんばれ子育て応援事業」や、乳幼児から中学生の通院及び入院の医療費を窓口無料化する福祉医療費助成に加え、高校生等の医療費助成等、各種手当による支援を行うとともに、保護者・子どもの生活支援、保護者の就労支援など、側面的な支援を行います。

（２）高齢者の保健・福祉

＜現況と問題点＞

住民基本台帳による本市の高齢化率は、令和 3 年 4 月現在で 37.2% となっており、全国平均を大きく上回り、超高齢社会の真っただ中にあります。

本市では、高齢者の社会参加促進のため、シニアクラブ活動やシルバー人材センターの運営に対する支援を実施しています。また、介護予防の推進のため、「ミニデイサービス」や「家事サポートサービス」、「配食見守りサービス」等のサービス事業や、「元気アップ教室」「フレイル予防教室」などを実施するとともに、地域で介護予防を推進するリーダーを育成するなど、地域全体で介護予防を展開しています。さらに、支え合いの地域づくりを進めるため、生活支援コーディネーターを配置し、担い手の育成及び組織化に向けた支援を行っています。

認知症高齢者等の安全対策として、市と民間事業者とで見守り連携協定の締結や、GPS 機器の導入費用と個人賠償責任保険加入費用にかかる助成を開始しています。また、認知症に関する早期対応の体制づくりとして、「認知症初期集中支援チーム」を設置するとともに、「認知症地域支援推進員」を配置し、交流の場として「認知症カフェ」を市内各所で開催しています。

高齢者世帯や独居老人世帯は年々増加しており、買物弱者対策や、高齢者の見守り等、高齢者を地域で支える仕組みづくりが必要となっています。現在、西和良や明宝、和良地域において、NPO 法人等による福祉有償運送や高齢者生活支援などの活動が始まっていますが、経営が厳しく、活動を支援する必要があります。

市内の介護施設については、介護サービスの担い手の高齢化や求職者数の減少等により、人材不足が今後一層危惧されます。今後も一人暮らし高齢者の増加が予想される中、多様な生活支援の担い手の確保が必要です。介護サービスを有効に提供しつつ、高齢者自らが経験や知識を活かして高齢者を支える活動に参加する機会を増やすなど、地域でお互いが支え合うことができるようにしていく必要があります。また、郡上偕楽園については、これまで複数回にわたる河川増水時の避難を経験しており、防災上の懸念が高まっています。これまで、防災対策として、避難確保計画を策定し、定期的な避難訓練の実施や避難応援協定の締結など、迅速に避難できる体制を整えてきましたが、近年の異常気象による想定外の豪雨も多発しているため、同じ地域内の安全な場所へ移転することとしています。市内のデイサービスセンターについては、建築から十数年経過したものが多く、設備の故障が頻繁に起こっています。高齢者に継続的に安全にサービスを提供していくとともに、効率的に運営できるよう施設の設備の更新を行う必要があります。

＜その対策＞

郡上市地域包括支援センターを中心として関係機関との連携を図り、介護・福祉・保健・医療に関する総合相談を積極的に実施し、常に市民の立場に立った質の高いサービスの提供に取り組めます。また、高齢者が心身ともに健康で自立して暮らし続けられるよう、介護予防体操の普及やフレイル予防教室を実施するとともに、住民主体の通いの場での取り組みが継続するよう、

リハビリ専門職等が支援をするなど、人と人とのつながりにより、顔が見える地域ぐるみの介護予防を推進します。

高齢者が元気で生き生きと暮らし続けるためには、地域の中で役割を持つことが重要です。支援の対象者として支えられるだけでなく、自らの知識や経験を活かし、地域の活動や他の高齢者のサポートなどの社会貢献ができる場づくりとして、シニアクラブの活動支援やシルバー人材センターの運営支援を引き続き実施します。また、介護が必要な状況になっても、住み慣れた地域でできるだけ住み続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、高齢者の生活を支えるサポーターの養成や、在宅介護に対するサービス、経済的支援などを行います。

不足する介護人材の確保については、介護職員初任者研修の受講修了者に対する助成を拡充するとともに、郡上北高校で新たに開設された介護職養成コースの運営支援、介護サービス事業所就職者への奨学金返還支援を行います。

デイサービスセンターについては、民間の参入が進み、市内全域に一定の拠点ができてきたこと、指定管理者が安定的な経営ができていることから、一部のデイサービスセンターについては譲渡をしていきます。このほか、保健センター等と一体となった複合施設となっているデイサービスについては、安全に利用していただけるよう計画的に設備の更新を行います。

郡上偕楽園については、防災上の観点から安全な場所に移転整備を行うとともに、公共が運営する高齢者福祉施設として、高齢者に安心かつ快適なサービスを提供します。

（３）障がい者（児）福祉

<現況と問題点>

本市の障がい者（児）は、令和２年度末現在で、身体障がい者が 1,935 人、知的障がい者が 392 人、精神障がい者が 420 人となっています。このうち、身体障がい者は平成 20 年をピークに少しずつ減少していますが、知的障がい者及び精神障がい者は微増しています。現在、障がい者（児）への支援として、幼児期には児童発達支援、成人期からは自立支援や地域生活支援を実施していますが、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域に受け入れられ、必要な支援を受けながら生活できる環境が必要です。また、障がい者（児）は要配慮者でもあることから、災害時における支援活動策も重要な課題となっています。

<その対策>

令和２年度に策定した第 6 期郡上市障がい福祉計画・第 2 期障がい児福祉計画に基づき、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して自立した生活が続けられるよう、障がいへの理解を深めるための働きかけや、日常生活に必要な福祉サービスの実施、医療機関や教育機関と連携したライフステージに合わせた支援の充実に努めます。また、ハローワーク等と連携して障がい者の経済的自立を目指して就労への支援を強化するなど、福祉の充実に図ります。

（４）計画

事業計画（令和３年度～令和７年度）

持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備考
6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	(1)児童福祉施設			
	児童館	児童館整備事業 ・はちまん児童館改修事業	郡上市	八幡

事業計画（令和3年度～令和7年度）

持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備考
	(3)高齢者福祉施設			
	老人ホーム	郡上偕楽園移転整備事業	郡上市	大和
	その他	デイサービスセンター空調・給湯・特殊浴槽更新事業 (空調・給湯・特殊浴槽更新)	郡上市	高鷲・美並
	(4)介護老人保健施設			
		和良介護老人保健施設事業 (介護システム導入、リフト車更新、施設整備)	郡上市	和良
	(9)その他			
		大和放課後児童クラブ棟整備事業	郡上市	大和
	(10)過疎地域持続的発展特別事業			
	その他	乳幼児医療費助成事業	郡上市	
		小中学校医療費助成事業	郡上市	
		高校生等医療費助成事業	郡上市	

(5) 公共施設等総合管理計画等との整合

公共施設等総合管理計画では、保健福祉施設を「子育て支援や生きがいづくり、生活支援など市民生活や福祉を支える場であり、市と民間事業者等が役割分担をしながら適正配置を考え、サービスの維持・向上を図る施設分野」として位置付け、次のとおり管理方針を定めています。また、公共施設等総合管理計画の実施計画である公共施設適正配置計画では、個々の施設の方針についてより具体的に定めており、その方針について以下に示します。

【高齢者支援施設】

(公共施設等総合管理計画における基本方針)

- 高齢者の生きがいの場や機会、介護予防のための役割を果たす施設であり、高齢者の移動の困難性から、設置主体（市又は民間）に関わらず、一定の近接性を考慮した施設配置とします。
- 介護サービス事業により運営する施設については、民間の参入が進んでいることに鑑み、将来的な高齢者人口の減少予測と利用者ニーズを踏まえながら、市の役割を明確にした上で、統廃合、民間への譲渡を検討します。
- 民間への譲渡になじまない施設は他施設との複合化を進めます。

(公共施設適正配置計画における個々の施設の具体的方針)

郡上偕楽園	機能	継続
	施設	建替
・養護老人ホーム、特別養護老人ホームの機能は、大和地域の安全な場所へ移転を進め継続するとともに、施設については、適正規模による建替えを含めて検討します。 ・当面、直営での管理運営としますが、移転後の施設の設置及び管理運営方法については、民間活力の活用を含め検討します。		

郡上市高鷲保健福祉センターこぶし苑	機能	継続
	施設	検討
・郡上市白鳥北部高齢者福祉センターとの機能統合を図ります。 ・耐震基準を満たし、今後も継続使用していくことから、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。保健センター機能及び隣接の図書館、診療所等を含め、有効活用に向けた検討を行います。 ・有効活用の検討に合わせ、管理運営手法のあり方について検討します。		

美並健康福祉センターさつき苑（美並デイサービスセンター）	機能	継続
	施設	検討
・デイサービス事業は継続するものの、実施方法については別途検討します。 ・施設の改修及び管理運営は、さつき苑全体のあり方検討の結果に基づき対応します。		
【参考：美並健康福祉センターさつき苑全体の対応方針】 ・保健センター機能は継続するものの、施設の利用実態を踏まえ、支所機能の移転を含め複合化・多機能化を検討します。 ・施設は、予防保全を含めた計画改修を行い、長寿命化を図ります。 ・複合化する機能に合わせ、開館日・開館時間、管理運営のあり方を検討するとともに、受益者負担の適正化を図ります。		

和良介護老人保健施設	機能	継続
	施設	継続
・介護老人保健施設としての機能は継続します。 ・耐震基準を満たしており、予防保全を含め計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。 ・管理運営については、併設する診療所の病床の利用や民間活力の活用を含め、管理運営のあり方について検討します。		

【保育・子育て支援施設】

（公共施設等総合管理計画における基本方針）

○子育て支援に関する施設は、公立と民間が提供するサービスの必要性や内容、コスト等を比較し、地理的な状況を踏まえた上で、役割分担の明確化を図ります。その上で、設置主体及び方法、配置のあり方について、民間活力の活用を含め検討します。 ○今後も継続する施設については、予防保全を含めて計画的に改修し、長寿命化を図ります。
--

（公共施設適正配置計画における個々の施設の具体的方針）

はちまん児童館	機能	検討
	施設	継続
・地域の拠点となる児童館として継続するとともに、今後の施策のあり方について検討します。 ・施設は、幼稚園及び保育園の改修等にあって対応します。 ・児童館における施策のあり方を踏まえ、専門性を有する職員の確保の観点から民間活力の活用について検討します。		